

明が必要なため、本人がその寝方が交通の妨害となることを認識した上で寝た必要があることから、多くの場合当てはまらなく、自宅だと勘違いして寝た場合などは、罪に問えないこととなります。

石垣市で路上寝込み防止宣言や路上寝防止対策及び適正飲酒に関する要請決議等が、平成17年、平成26年、平成30年と3回出されておりますが、状況は全く変わっており警察官を含め多くの関係者が罰則のついた条例が必要だという意見が出ていますが、条例では罰則を設けることが難しく、罰則のない条例でさえ、他自治体は制定が難しいという事で、できませんでした。このことを考えれば、酔っぱらって路上に寝る行為そのものに対して罰則を科せるようにする抜本的な法律の改正が必要だと考えます。

(結果) 賛成多数で可決

○提出先

内閣総理大臣、法務大臣
警察庁長官、

新石垣空港(南ぬ島石垣空港)駐車場への無料駐車時間設定に関する意見書

提出者 長山 家康

要旨

県内各空港には駐車場が整備されているが、有料となっている駐車場は那覇空港、宮古空港、新石垣空港のみである。

那覇空港では、駐車場入庫後30分以内の出庫は無料とする無料時間を設定しており、空港利用者の送迎等の一時利用の負担軽減となつているため、沖縄県内において、空港の中心的な利用者である、地元住民の宮古島市民・石垣市民は他の地域の沖縄県民と比べて過度な負担を強いられる状況である。

このことは、新石垣空港ターミナルビル前の混雑を引き起こす一因ともなっており、ターミナルビル前の道路は降車専用となつているにもかかわらず、駐車場が有料であるため、負担を

抑えるために当該道路で送迎の乗車が行われており二重駐車が発生するなどし、交通事故の危険性が常にある状況である。

よって当市議会は、県内において石垣市民への不公平の解消と利便性向上及びターミナルビル前道路の安全性確保のためにも、那覇空港同様に新石垣空港駐車場利用の無料時間の速やかな設定を強く求める。

(結果) 全会一致で可決

○提出先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元選出県議会議員



赤嶺昇県議会議長に要請する石垣市議団

石垣港への2020ターミナル施設整備の予算措置を求める意見書

提出者 長山 家康

要旨

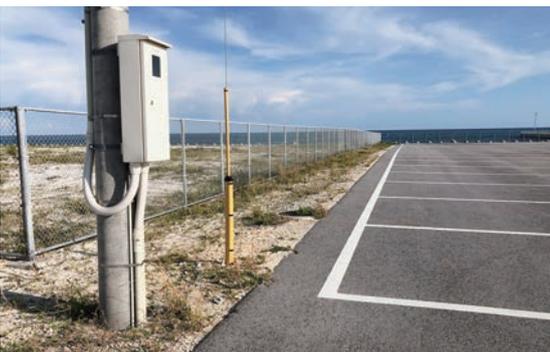
コロナ禍以前の令和元年港湾法の重要港湾に指定されている石垣港へのクルーズ船寄港回数は全国5位、過去最高となる148回を記録し、入域者数は36万583人、観光消費額は約79億円に上り、国際観光都市を標榜する本市において、インバウンドからのクルーズ船観光の重要性は増えています。

石垣港へ寄港するクルーズ船は主に、新港地区の岸壁に着岸されます。現在、新港地区のクルーズ船バース前には、ターミナル等の上屋がなく、インバウンドのお客様のCIQ(税関・出入国管理・検疫)手続きを行う際には、クルーズ船内での対応となつているため、インバウンドのお客様が日本ではじめて受ける「おもてなし」の観点からも受入体制充実のために、以前よ

りCIQターミナル施設の整備が求められていました。

本市は沖縄振興特別推進交付金を活用し、同施設の整備に向け、沖縄県との調整の上、事業費を令和4年度当初予算に計上しておりますが、令和4年度政府予算において、同交付金が大幅に減額されたあおりをうけ、利用が困難になったため、予算確保の目処が立たない状況です。

また、現状ではその他の補助メニューもなく、事業規模10億円を越す施設整備について、財源に乏しい本市において単独事業での予算確保は限界があり、現実的ではないため、同施設整



CIQ施設整備予定地(写真右、南ぬ浜町)